

## 令和7年度 第4回 佐久間中学校運営協議会 会議録(要点記録)

- 1 開催日時 令和8年2月13日(金) 14時30分から16時30分まで
- 2 開催場所 佐久間中学校 会議室
- 3 出席委員 高氏 秀佳、笹野 訓子、奥山 和子、鈴木 千穂、向坂 美保、  
片倉 美咲
- 4 欠席委員 本家 美佳
- 5 オブザーバー 大見 芳(NPO法人がんばらまいか佐久間 理事長)
- 6 学 校 小出 義幸(校長)、鈴木 政晴(教頭)、高原 英樹(教務主任)
- 7 傍 聴 者 1人
- 8 会議録作成者 CSディレクター 新聞千代子
- 9 議長の選出  
司会の教頭から、議長の選出について委員に意見を求めたところ、各委員から会長を推挙する旨の発言があり、全員意義なくこれを承認した。
- 10 会議記録  
委員総数7名のうち6名の出席があり、会議が成立している旨の報告があった。
- 11 今年度の学校運営協議会の取組（経過と進捗の報告） ※詳細は資料p5～10  
【支援コーディネーターの活動について】(教頭・奥山・向坂)
  - ・ 学校と地域を繋ぐさまざまな活動のやり取りの経過情報が入ってくるが、多くの時間を費やしていただき本当に感謝しかない。(高氏会長)【今後の地域クラブの運営について】(教頭)
  - ・ 教育に関する地元公益団体からの教育活動寄付金を充てる案について、地域クラブの趣旨として問題はないので増額を検討してもらってもよいのではないかと。ここまでの準備状況についての資料をいただきたい。(大見オブザーバー)
- 12 熟 議  
(1) 学校関係者評価について(教務主任) ※詳細は資料p11  
議長の指示により、教務主任から別紙資料に基づき報告があり、委員からは以下のような発言があった。
  - ・ 任期1年目ということもあり、評価項目に「わからない」と正直に答えた。中学生の様子を知るにはもう少し時間が必要。(片倉委員)
  - ・ 一つ一つの項目を評価していくという作業はよく考えると難しい。ただ、生徒の自己評価90～100%という数値は自己肯定感が高い。以前はもっと自信をもてと励ましていたのだが、育ったということか。(高氏会長)
  - ・ 項目⑥「自分の得意なこと苦手なことを把握し、調整や改善を加えようとしてい

る」についての生徒の自己評価と保護者・教員の評価に開きがあり、結果に結びついていないのではないかと考える。(笹野委員)

→中学での出口の一つは進学、試験で点数を取らなければ気持ちよく通れない。その点が今後の問題であり課題だと思う。いつの時代、どこへ行っても中学校の永遠のテーマともいえる。(高氏会長)

- ・ いじめアンケート、いじめの認知があったことについて、特に少人数だと日常で起こり得ることで、いやな気持ちにはなるのは分かる。(笹野委員)

→いじめの認知については、複数の教員によって聞き取り調査を行った結果、現在は人間関係が壊れることなく平穏良好な関係に戻っている。(教務主任)

→今回こうしていじめの認知として報告が挙げたことは非常に高く評価できる。日常的な些細なことを聞き逃さないという学校側の姿勢と丁寧な対応がされている。多方面からのアプローチで聞き取り調査が行われて内容の詳細が明らかになっていて安心した。(高氏会長)

→生徒が正直にアンケートで先生に知らせてくれること、保護者も内容を知っていることが大事で、人間関係ができていく証拠だと思う。(奥山委員)

## (2) 学校運営協議会の自己評価(自由記述)について(教頭) ※詳細は資料p12~15

議長の指示により、教頭から別紙資料に基づき報告があり、委員からは概ね以下のような発言が聞かれた。

- ・ 評価項目1、4で、「学習した内容の定着が良くないこと、生徒が調整や改善しようとしているのか図りかねることなどの課題が明らかになっていることが分かった」との記載がある。これからの佐久間中学として、今までの取り組みに加え学習内容の定着をふまえ意識していくことも課題としたい。(高氏会長)
- ・ 中学生にとっては、改善を試みてもなかなか結果に結びつかないものだと思う。(片倉委員)
- ・ 探究的で体験・解決型の学習への取組に満足度が高くなっていることは良いことだが、中学校には入試という学力の定着を試される出口もあり悩ましい。学力定着のトレーニングも必要だと思う。(鈴木千委員、向坂委員)

4つの評価項目について各委員からの意見をもとにまとめられた【総括】が、現在の生徒の課題を表しており、来年度の方向性を示しているのではないかと高氏会長が総括された。

## (3) 来年度の学校運営の基本方針について(校長)

校長から、来年度のグランドデザイン案について、本年度との違いについて説明があり、委員からは以下のような発言があった。

- ・ 歴代3人の校長からグランドデザインを示されたが、三者三様でその時々の子供の様子がよく反映されている。(高氏会長)
- ・ 「なりたい自分」は自分でもよく分からないが、大谷翔平がスモールステップの目標を一つずつクリアしていった例が見本になるとよい。(笹野)
- ・ 「明日の自分」「この行事が終わったらどうなっていたいか」など具体的な例を挙げてもらふことで「なりたい自分」が腑に落ちた。(鈴木千委員)
- ・ 中学生のころには分からなかったが、いま改めて図に示していただいて、「そうだよな、こういうことが大事だな」とつくづく思う。(片倉委員)
- ・ 「なりたい自分」と言われると、「一人一人が主役」よりも子供にスポットが当たって「自分事」という感じがする。(高氏会長)

協議の結果、全員異議なく来年度の学校運営基本方針を承認した。

#### (4) 来年度の学校運営協議会の重点について(校長)

校長から、来年度の議題として2つの説明があった。

- ① 「休日部活動の地域展開」について、継続して議題に取り上げる
- ② R9に向け、R8年度中に「法改正に伴う業務量管理と健康確保措置」の具体策について議題に取り上げ、共有する

説明を聞き、特に②について、運営協議会の果たす役割が益々重要になることが確認された。最後に、校長より2期6年の満期を迎えた3名の委員への感謝が伝えられ、新委員について紹介があった。

### 13 連絡

- ・ 夢育やらまいか(CS加算分)について(教頭)  
ここ2年、終日探究活動の日のタクシー借り切りで成果を上げていることから、来年度も同様の活動をしたいとの希望があった。
- ・ 健全育成会だより等の地域掲示について(教頭)  
各種たよりの地域掲示に、配布時の協力をいただきたいと依頼があった。